

# 令和5年度全国障害者スポーツ大会 競技規則・解説 改正概要(修正版)

千葉県障害者スポーツ大会(以下、県大会)は、全国障害者スポーツ大会の競技規則を準用して実施しています。下記の改正については、県大会競技規則に反映しますので、参加予定団体は確認のうえご参加ください。

## 1 フットベースボール競技における競技名の変更

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」からフットベースボール競技の競技名が「フットベースボール」から「フットソフトボール」へ名称変更したので、千葉県障害者スポーツ大会も令和5年度から名称を変更した。

令和5年3月7日に開催された日本パラスポーツ協会の令和4年度4協議会  
合同会議で追加発表されました

## 1 全国障害者スポーツ大会 競技規則集 競技・種目の変更

次のとおり変更する。詳細は別表を参照。

### (1) 陸上競技

肢体不自由 3 能原性麻痺 18

旧) 片上下肢で車いす使用 → 新) 片上下肢または片上肢で車いす使用

### (2) ボッチャ

肢体不自由 1 切断・機能障害

旧) 多肢切断または両下肢完全 立位 → 新) 多肢切断 両下肢完全

両上肢不完全および両下肢不完全(立位)

## 2 陸上競技・水泳・フライングディスクにおける視覚と聴覚の重複障がい者の参加機会を確保するための配慮

視覚と聴覚の重複障がいのある選手への参加機会を確保するにあたり、陸上競技・水泳、フライングディスクにおいて、競技中の配慮(競技中の安全確保、介助者の他に通訳者の同伴、スタート合図行為等)を規則に明記する。

県大会では、これから競技役員への規則改正の周知徹底を図り、参加者の拡大を図っていききたい。

## 3 ボッチャの競技形態の変更(個人戦リレー方式からペア戦方式へ)

ボッチャの競技形態をこれまでの個人戦(リレー方式)からペア戦方式へ変更する。

理由は、個人戦(リレー方式)での選手交代時に時間を要する等、競技をスムーズに進行するため。立位と座位の選手が1名ずつの計2名での参加はこれまでと同様であるが、試合開始と同時に各スローストリングボックスに各2名ずつ、計4名が入ることとする。

#### 4 ボッチャにおける「競技アシスタント」、「ランプオペレーター」

選手と競技エリアに入る競技アシスタントについて、規則を整理する。ランプを使用する選手に対し、ランプを操作しサポートする者を「ランプオペレーター」、障がいの重い選手の移動支援や方向転換等のサポートを行う者を「競技アシスタント」と表記する。

県大会では予選を千葉ボッチャ選手権に位置付けており、競技規則は主催者の千葉県ボッチャ協会等が作成している。独自の運営のため今回の規則変更がそのまま適用するわけではないが、全国障害者スポーツ大会のエントリーのため選考には考慮されなければならない。

#### 5 ボッチャにおける区分番号1に新たな障害区分の追加

ボッチャの区分番号1に「両上肢不完全および両下肢不完全」という新たな障害区分を追加する。これは三重大会（2021 年中止）、栃木大会（2022 年開催）の選手申込時に、該当する立位の選手がいなかったため座位と立位選手でのチーム編成ができないという声が多く寄せられていることを踏まえ、区分番号1に新たな障害区分の追加を決定した。なお、それに伴い機能障害の「不完全」の定義について明確に規則に示すこととした。

千葉県代表選手選考に関し、枠を広げることになるため選手層の拡大を期待する。

## 令和6年度以降の改正に伴う検討事項

【令和 6 年佐賀大会より変更予定】

### 1 ソフトボールにおける競技時間の変更

これまで「試合開始後 60 分を経過した後は、新しいイニングに入らない」という規則を「試合開始後 80 分」に変更する。ただし、予選会およびブロック大会（リハーサル大会）においては、開催状況により「試合開始後 60 分」に変更することができる。

【令和 8 年青森大会より変更予定】

### 2 「グランドソフトボール」から「ブラインドベースボール」への競技名変更

「グランドソフトボール」から「ブラインドベースボール」へ名称を変更する予定。

【令和 9 年宮崎大会より導入予定。ただし、周知、研修等の準備期間を設ける】

### 3 年齢区分の見直しおよび変更

- ①身体障害者、知的障害者の区分を統一する。
- ②年齢区分は 4 区分にする。
- ③参加状況に応じて、競技種目の「年齢共通」を設置することができる。（例：1 部と 2 部が同区分で競技する等）
- ④年齢区分の対象競技は、陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリングとする。

- 【改正案】(1) 1 部 (19 歳以下)  
(2) 2 部 (20~39 歳)  
(3) 3 部 (40~59 歳)  
(4) 4 部 (60 歳以上)

#### **4 障害区分の見直しおよび変更**

陸上競技、水泳の障害区分の検証を行い、新たな障害区分を検討中。なお、現行の障害区分（陸上競技計 28 区分、水泳競技計 26 区分）をそれぞれ見直し、区分統合を含め、それぞれの障害区分を5区分程度減らす方向で見直し案を作成中。また、知的障がいにおける障害区分の導入、低身長（小人症）の方の参加等、新たな障がい種別の参加を検討中。

【具体的な導入年は未定】

#### **5 水泳におけるリレーの実施方法の見直し**

知的障害者を対象として、4×50m フリーリレーと 4×50m メドレーリレーの 2 種目が行われているが、現状では、参加チーム数が極端に少なく、現在、技術委員会では、現行と同じく男女混合であることの上、参加できる障害種別を拡大し、少しでも多くの選手団に参加の機会が提供できる見直しを検討している。